

特定非営利活動法人(NPO)
ふくかねっと

〒960-2261 福島市町庭坂字荒町 59-1
電話：080-6003-0753
E-mail: fukukannet4892@bz01.plala.or.jp
URL: http://kan-net.web.infoseek.co.jp/

入会のご案内

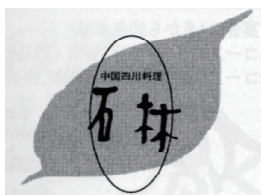


活動内容は、韓国語講座、韓国料理教室、韓国旅行、韓国映画鑑賞会、韓国人との交流会など盛り沢山。お好きなものにご参加ください。

- 会員種類
- 【正会員】
- すべての事業（活動）に任意で参画できる会員
- 【賛助会員】
- 組織の目的に賛同し、財政的な支援をする個人または法人・団体等の会員

- 会費
- 正会員：年額 3,000 円
- 賛助会員：年額 1 口個人 5,000 円、法人 10,000 円

- 【会員特典】
- 韓国料理講習会、韓国旅行、韓国映画鑑賞会、韓国人との交流会など、イベントへの優待待遇
- 韓国食材・雑貨が会員価格
- 福島フォーラム（映画館/福島市）で韓国関連の映画を一律 900 円で鑑賞（会員証提示）
- 韓国雑誌の会員価格販売



〒960-8035
福島市本町 5-30 コーワビル2F
TEL (024) 524-1741
FAX (024) 524-1745
■営業時間■
11:30 ~ 14:30 17:00 ~ 22:00
■定休日■
毎週日曜日
-mail shiering@rose.ocn.ne.jp
URL http://www.shiering.jp/

http://kan-net.web.infoseek.co.jp/

菜穂ちゃんの韓国三昧日記 その1

韓国のお正月

台所に集う女性たち
お年玉は日本より少なめ

韓国は、お正月を旧暦でお祝いします。よって毎年違う日にちになるので私たちには、ちょっとややこしい。去年は1月下旬でしたが、今年は2月19日です。旅行者は極力この時期はさけていったほうがいいでしょうね。なぜならほとんどの

お店がお休みですから。とは言え、最近元旦から空いているお店も結構あります。去年はその時期韓国に滞在しており、友人たちのおかげでいろんな経験をしました。まず、お正月料理。日本と同じく雑煮ですが、日本のものとはずいぶん違ってお金形に薄く丸く切ったトックを使い、鶏でとっただしの中に入れ、韓国海苔を散らして食べます。地方によってそのスタイルは違うようですが、私が頂いたのは北方の韓国餃子、南方のトックが両方入ったソウル式のものでした。餃子にはキムチと、春雨などが入っていてとてもヘルシー。北では昔、米がとれなくてトックのかわりに餃子を食べたのだとか。元旦には兄弟家族が続々集まって男性だけがお供え物をしたご先祖様の祭壇にご挨拶のお辞儀をします。女性はひたすら台所に集まってましたね。お嫁さんご両親に挨拶します。子供たちは大人に挨拶をし、お年玉をもらいます。金額は日本よりずっと好感のもてる金額でした。（文章：事務局長・河本菜穂子）



ふくかんキムチは、保存料も着色料も使わない無添加です。20種類以上の材料を入れた贅沢なヤンニョム（薬味）で市販のキムチにはないコクが魅力。手間ひまかけてふくかねっとのオンマ達が漬けた愛情たっぷりの味をぜひご賞味ください。お求めは、ふくかねっと事務所および通信販売も行っています。詳しくは、tel080-5575-6929へ。

嶋田アジュンマのノムマシッソヨ!

<材料 4人分>
イカ1杯、きゅうり1本、人参1/3本、大根40g、貝割れ1/2パック、長ねぎ1/2本、キムチのヤンニョム大さじ2（又はコチュジャン大さじ2）りんご酢大さじ4、柚子の絞り汁小さじ1 胡麻油小さじ1、醤油小さじ1

イカのフェ

<作り方>

1. イカは皮を剥き細く切ります。
2. きゅうり人参大根長ねぎをせん切りに、貝割れは根を落とします。
3. 中央に野菜を丸く盛りイカの上に乘せます。
4. たれの材料を混ぜ合わせ器に流します。
5. 食前に全体を良く混ぜ合わせます。



フェとは刺身のこと。たっぷりの野菜と一緒にいただきます。

福島と韓国をひとつのつながりでねっとわーく 韓国を楽しむ仲間になりませんか!



ふくかねっと

特定非営利活動法人(NPO)

第7号 2007年3月15日発行

韓国語講座 受講生募集中

5才から70才以上の方まで 楽しく学んでいます!

- 入門・初級・中級クラス
- 子どもクラス
- 学生・社会人夜間クラス
- 保原教室

対象、スキル、地域、曜日時間に合わせてクラスがあります。また、短期出張講座、講師派遣も承ります。詳細はお問い合わせください。tel 080-6003-0753

簡単・楽しい・覚えちゃお!

今回は、会話の中でよく使われる 相づち言葉をテーマにしました。

- 1) 何かあったのですか?
무슨 일이 있었습니까?
ムスンイリ イッソッスンミカ?
- 2) 何ですって?
무엇이요?
ムオラグヨ?
- 3) なるほど。たいしたものですね。
그렇군요. 대단합니다.
グラクジュンヨ. デダナンミダ。
- 4) いい気持ちです。(気分がいいです)。
기분이 좋습니다.
キブンイ ジョンスンピダ。

(監修：河本菜穂子)

ふくかねっと 韓国食材と雑貨の店

あんにょん★コッペギ



新製品 & おすすめ製品情報

ふくかねっと選りすぐりの韓国食材・雑貨を販売しています。会員には、会員価格でご提供! ご購入は、ふくかねっと事務所および各講座にてどうぞ。



新製品! 韓国の伝統茶屋でもおなじみですね!

メシル茶 (梅茶)
500g ¥800 (一般 900)
酸味さわやか
ホットでもアイスでも OK

新製品! 3~5倍に薄めて手軽に健康づくり!

ざくろの飲む酢
500ml ¥1,300 (一般 1500)
五味子柿、サツマイモ、ザクロをミックス。



「福島大好き! また来ます!」と銀瓶さん。

2006年12月21日、駐日韓国大使館韓国文化院、ふくかねっと主催による「韓国語落語と韓国民話のおもしろ競演」をコラッセふくしま(福島市)で開催しました。

まずは、韓国民話の語り部として全国で活躍中の在日韓国人・金基英さんが、流暢な日本語で、人の爪を食べたネズミが人に化けた話など数話を語ってくれました。続いて、

落語家・笑福亭銀瓶さんが、トラの毛皮をかぶって動物園でトラ役をするようになった男の噺、「動物園」を日本語と韓国語で披露。お二方とも、お客さんと軽妙なやりとりも素晴らしく、会場は終始笑いに包まれていました。後半、ちょん理事長をコーディネーターにした3人の対談では、まったく台本は無かつたものの、福島や韓国の話題で大いに盛り上がりました。

1から10まで、ふくかねっとスタッフによる手作りイベントでしたが、年末の忙しい時期にも関わらず400人近い方にお越しいただき成功裡に終了しました。2006年最後を飾り、ネットワークとしてまたひとつステップアップを実感したイベントでした。



ふくかねっと企画ツアー
扶余・全州・ソウルで
食と文化を楽しむ旅



歴史と文化を肌で感じた驚きと感動の旅 保原教室 三田村 陽子

今回の韓国歴史への旅の話聞いた時、私は何のためらいもなく、「行きます」と手をあげていました。それは、日本へ様々な影響を及ぼしている朝鮮半島、特に三国(百濟、新羅、高句麗)の歴史や文化、芸術などを肌で感じてみたいと、常々思っていたからなのです。特に、百濟最後の王朝であった扶余に行けることは、私にとって魅力的なことでした。

宮廷の女官が
飛び降りていく姿が見えた

実際に行ってみると、現存するものはほとんどなく、ちよん先生からも「古に思いを馳せて想像力をたくましくすることが必須だ」と言われました。雨の降る中、定林寺趾、落花岩、武寧王陵などを見て回り、言われたとおりに思いを馳せてみました。すると、落花岩では、宮廷の女官たちが飛び降りていく悲しいけれど美しい様子が周囲の風景と相まって、目に浮かぶようでした。

また、国立扶余博物館も素晴らしく、ここで「百濟金銅大香炉」を見た時に感じ

行ってきました！総勢28名(会員25名、一般3名)で、2006年10月21日から4泊5日、扶余・全州・ソウルの旅へ。今回は久しぶりにちよん理事長も同行され、予想通りの楽しい旅となりました。

韓国人と日本人の
根っことは一緒 旅行幹事 佐藤美枝子

今回の旅行の最大のテーマは、「百濟の歴史」で、ちよん先生や親切なガイドの郭さんからしっかり教授していただき、大変勉強になりました。この旅で一番感じたことは、2003年に慶州に行った時と同様、「ああ、韓国人と日本人の根っことは一緒なんだなあ」という事です。長い歴史の中ではちょっとタイミングが違っていたら、韓国も日本も同じ国だったかもしれないし、そうなっても不思議はないと感じました。京都や奈良へ修学旅行に行った時のような懐かしさをおぼえました。長い間に考え方や生活様式にだんだん違いが出てきたかもしれませんが、ある人類学の教授が言っているように、「本土日本人と韓国人は遺伝的にもっとも近い関係にある」ということが実感できたような気がします。

アジュンマとの再会

さて、旅行のもう一つ別の目的は、今年5月に福島でお会いした5人のアジュンマ(おばさん)たちと全州で再会することでした。今回、28人という大人数で訪問することが知らされてから、おばさんたちの交流会に向けての準備はそれはそれは大変だっ



たとお聞きしました。一度借りた会場が人数が増えたことで使えなくなり別な場所を探すのに苦労したり、私たちのために韓国の民俗音楽を聞かせてあげたいと頼んでいた方に会場が遠くなったために断られたり、何週間も前からご馳走の準備をしたり…。すべてが手作りだったそのお料理の豪華だったこと！私個人的には、ちよん先生の好物だという「かぼちゃのお粥」が チェイルマシソソソヨ！（一番美味しかった！）。食事が終わった後は夜遅くまでチンチルバンでの裸の交流となりました。お別れする時に、「また福島に来てくださいね！」とみんなでご挨拶はしましたが、おばさんたちにとってそれはかなり困難なことだと思います。でも、もしふくかねっとの皆さんが韓国に行かれた時に全州まで足を延ばしていただければ、おばさんたちはきっと大歓迎してくれることでしょう。

た美しさや感激は私の宝となりました。扶余の感激の余韻に浸っているうちに、旅行は全州、水原とあわだき過ぎていきました。全州の古い町並みを保存した地区、水原の華城など、どれも印象深い場所ばかりでした。

韓国の伝統芸能に感動

そして、最後のソウルの夜、思いがけないプレゼントがありました。それは国立国楽院での韓国芸能公演。私は韓国の伝統芸能にとっても興味があったので、うれしくてたまりませんでした。歌あり踊りありのあつという間の3時間で、最後はスタンディングオーベーションで最高潮となって幕を閉じました。終了後、ホールではちよん先生と公演を見に来ていた女優さんとのうれしい記念撮影。4泊5日はあつという間で、移動時間の疲れも吹き飛ばすほどの驚きと感動の連続でした。今回の旅行は、私にとって最高の宝物となったとともに、もっとも韓国を歴史を知り、これからの韓国についても見守ってきたいという気持ちになりました。



韓国人留学生との韓国料理教室&茶話会



留学生との交流のきっかけ

事の発端は、私が総務省での研修のため、東京に単身赴任したことによる。ちよん先生の授業で韓国語を勉強していた私は、韓国語の勉強を中断したくない一心で、上野韓国語教室という、個人教師派遣の語学教室に登録したところ、先生として現れたのがソンさんだった。はじめはスターバックスなどで週一度おしゃべりしていたが、実施訓練はどうかというソンさんの提案によりシンさんをはじめとする韓国人留学生と飲むようになった。そのうち奥さんやジョさんも来日し、やはりいろいろ交流するようになった。

4人のなかで特にシンさんが、田舎が好きだということをしきりに言っていたので、ぜひ福島に行こうという話になった。12月8日の来福後、猪苗代湖に行ったり、土湯温泉に行ったりもしたが、やはり彼らにとってもっとも印象に残ったのは、自然や食べ物といったものよりも、福島の人々の「情」だったようだ。いろいろな料理を持って宿泊場であった事務所を訪ねてくれた人々、

参加してくれた留学生

- ・ソンチョンジュンさん (多摩美術大学大学院生)
- ・キムソヨンさん (ソンの奥さん：高校教師)
- ・シンヒョングさん (ソンの幼なじみ。5月に新大久保駅で線路に落ちた女性を助けた方)
- ・ジョソッキョンさん (ソンの先輩。春川出身)の4名。

猪苗代湖や土湯温泉と一緒に来てくれた人、カラオケ大会でデュエットしてくれた人々、料理教室で和気相合一緒に料理を作った人々、茶話会に参加してくれた人々などなど、とにかく一生懸命もてなそうとしてくれたその心意気が非常に嬉しかったとのことである。

ふくかねっととずっと交流を続けたい

ソンさんキムさん夫妻は、今後もふくかねっとと交流を津続けたいので、メンバーが首都圏に来た場合には、自宅に宿泊してもらって一緒に料理を作ったり、韓国語の勉強をしたりして交流したいと申し出てくれた。シンさんとジョさんも同様に、できる限りお会いして交流をしたいと申し出てくれた。一年以上に渡りつきあひから言えることだが、彼らは基本的にはタマエは言わない。本気でそう思ってくれている。

そんな彼らの素敵な心意気に応えるべく、私たちは、彼らにとっていつでも帰って来ることができる日本の故郷として、彼らを温かく見守りたい。

(文章：ふくかねっと監事 高橋 健)



メニューはブデチゲ、ブルコギ、チヂミ。レシピを必死にメモしました。



和室で留学生を囲んでお茶を。新大久保駅で線路に落ちた女性を助けたシンさんから、その後の後日談などもお聞きしました。



2006年10月の旅行にはじまり、年末年始から今まで、ふくかねっとはイベント目白押し！ちよん理事長はじめ事務局、会員大忙しでした。紙面の関係上詳しくご紹介できませんが、こんな活動も行いました。

第2回カラオケ大会 2006.12.10



チャングムの誓いのイベントで来福されたパクونسさん(シンイクピル役)から、地元の方と交流したいという申し入れがあり、急遽開催されました。カラオケはもちろんのことパクونسさんとのジャンケンゲーム(カバイボゲーム)もあり、大いに盛り上がりました。パクさんは、10曲近くを歌手並みの歌唱力で歌い上げ、あまりのうまさに近くの部屋で唄っていた人々が集まるほどでした。

キムチ講座 2006.12 ~ 2007.2



12月から2月の間に、キムチ講座を合計5回以上開催しました。福島テレビから取材も受けました。

第2回もっと知ろう韓国
ふくかねっとフェア 2006.12.11



コラッセふくしまで、韓国直輸入民芸品・アクセサリ・食材等の販売、チマチョゴリ試着撮影会等を行いました。

子どもクラスの
韓国ホームステイ 2006.12.24 ~ 27



小学1年から5年生までの子ども達を含む親子計7名が参加。ソウル南側にある盆唐(ブンタン)という新都市の一般のお宅にお世話になり、ホームステイしてきました。

手作りチョコ教室 2007.2.3



親子連れ、非会員の方も含めて15名が参加。パレタインのチョコクッキーとフルーツチョココーティングの2品を作りました。

本物の韓国料理を楽しむ益荒男と
麗人の料理教室 2007.2.9



日本一のふるさとを創る会主催のイベントにキムチ講習と韓国料理のご提供で協力しました。会発足初の全員参加で、ふくかねっとが提供したキムチ鍋やチャブチェ、トッポキ、チヂミなど手作り料理をマッコリと共に味わっていただきました。